

令和3年度 第2回 3市ごみ減量推進市民会議 要点録

日 時：令和4年1月24日（月）午前10時00分～午前11時10分
場 所：日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 2階 多目的室
議 題：1. 挨拶（宮脇委員長）

2. 議事

（1）各グループにおける検討結果報告について

①情報グループ

②減量グループ

（2）検討結果の提案について

（3）その他

3. 閉会

出席者：宮脇委員長、伊藤委員、大木委員、小野寺委員、比留間委員、佐藤委員、八ツ藤委員、石垣委員、石田委員、斎藤委員、林委員、高尾委員、小坂委員、深澤委員、西村委員

事務局：高橋課長補佐、山口主任、永沢係長、大野主任、府川係長、高田係長

傍聴 1名

（委員長より挨拶）

宮脇委員長

本日は、この2年間の成果の現状を報告いただくという会になるので、ぜひ活発な質疑をお願いしたい。

（情報グループの検討結果について、グループリーダーより資料に沿って説明）

石田委員（小金井市）

情報の発信については、資料記載の通りで問題なければ、このまま3月に各市市報等に載せたい。

環境学習については、副読本は、日野市が既に作成済で、小金井市、国分寺市も作成を検討していただくということ、ごみ減量に関する論文に関しては、まずできることからやってみようという思いを込めての提案。

市民会議のメッセージについては、前回から大幅には変わっていないが、令和3年度第3四半期までの集計で、ごみ量が少しだけ減ったことを表記している。

宮脇委員長

要点としては、大きな取り組みを、まずはきちんとやってみようということで、一部の取り組みは既にスタートしていたということ。

また、それ以外のやるべきことというのも、ぜひ3市のほうで丁寧に見てほしいという

内容になっている。グループからの要望について事務局の方で丁寧に進めていただきたい。

基本的には前回お話しいただいた内容を、最終的に要点をきちんとまとめて整理をしていただいて、最終報告の形で出していただくことになっている。

市民会議のメッセージについても、事務局で整理・確認して、市長報告へ上げていただきたい。

八ツ藤委員（国分寺市）

3月に予定している市長メッセージの市報等への掲載については、3市同時に3市市長分を一緒に載せる予定か。

小坂委員（国分寺市行政委員）

前回と同じように、3市市長のメッセージと一緒に、それぞれの市報等に載せる予定。

八ツ藤委員（国分寺市）

個人的な意見だが、3市そろい踏みでなく、それぞれの市民宛てに市長がきちんと語りかける形にしてはどうか。

宮脇委員長

実際にどの文面をどう掲載するかというのは、これから市のほうでそれぞれ検討される共通認識などは丁寧にまとめていただいた上で、ご意見についても参考にしていただきたい

（減量グループの検討結果について、グループリーダーより資料に沿って説明）

小野寺委員（日野市）

減量グループとしては、前期の提案を踏まえ、3市のごみ減量の取り組みの現状をまず把握する作業を行った。その上で、3市の取り組み全般から課題を抽出し、重点施策を取り上げた。

宮脇委員長

細かく3市の現状を整理していただいており、市民に見ていただくのに非常に分かりやすい資料にまとまっている。この内容でよければ、各市市長宛てに、ここまで取りまとめができましたということで提出させていただきたい。

林委員（小金井市）

来期について、市民レベルだけで考えても先に進みにくいので、行政との関わりがもう少し必要ではないかと思う。

宮脇委員長

今後、各市は提案をどのように扱っていくか、各市行政委員の考えを市民委員に向けて発言願いたい。

小坂委員（国分寺市行政委員）

この2年間、国分寺として一番減量に取り組んだことは、剪定枝戸別回収。

3市の共同事業として水銀のキャンペーン、すぐに食べるものは手前から取る「てまえどり」、コンタクトケースの回収を3市で取り組んできている状況。

次期は皆様にご協力いただきながら、3市の共同事業等で実績が見えるような形、例えば副読本を作るなど取り組んでいきたい。

高尾委員（日野市行政委員）

3市の市長が同じメッセージを出すのは、前期も今期も3市市民会議の提案によるもので、とても良い形。3市ごみ情報誌の時期を合わせるなど、情報発信も一緒に行うようになり、ひとつひとつ3市共同の取り組みが増えている。

いただいた提案のアウトプットについては、まだまだ弱いところがある。もう少し市民に伝わるようにという点を中心に取り組む必要がある。

次期は、いただいた提案をどう形にしていくのか、実施重点型ということで、3市だけでなく、浅川清流環境組合とも連携して進めていきたい。

深澤委員（小金井市行政委員）

小金井市は平成18年10月から、ごみ非常事態宣言を掲げ、減量に取り組んできた。

令和2年4月から浅川清流環境組合にご協力を頂き今に至るが、令和3年度からごみ非常事態宣言の幕を下ろし、新たに「循環型都市ごみゼロタウン小金井」を掲げ、さらなる減量に取り組んでいる。

3市市民会議についても、せっかく出していたいただいた提案をフィードバックしていかねばと考えている。

いろいろなごみ減量の施策がまだまだ眠っている。市民の皆様の力を借りて、できるだけ施策につなげていきたい。

宮脇委員長

前期は大枠の内容を決め、今期は具体的な内容を提案してもらった。行政には環境によく無駄のない事業を目指して取り組んでいただきたい。

また、今後検討していく際には、今回いただいた提案の中から、こういうことは今後こんな計画で取り組めそうですといった報告が出来るよう整理していただくとよい。委員の皆様が時間を使ってまとめてきたものなので、形だけでなく実務的に進むように取り組んでいただきたい。

八ツ藤委員（国分寺市）

清流環境組合から施設の稼働状況等についての定期的な報告を頂くこと、市民会議の継続性を担保するための次期委員への引き継ぎを行うことの2点お願いしたい。

宮脇委員長

次期、継続して実施するときには、資料の引継ぎというのを、各市できちんとやっていただきたい。

西村委員（浅川清流環境組合行政委員）

年度実績値といった形で、年に1回程度はご報告したいと考えている。

（各委員から感想）

小野寺委員（日野市）

個々の内容の情報発信でなく、3市市民がごみを減らす意識改革が大事。3市が一丸となって「ごみを減らすのは当然のこと」と思ってもらえるように取り組むべき。

大木委員（日野市）

市民にこんなことをやってくださいというような、具体的な提案をまとめるのが良いと思う。

比留間委員（日野市）

コロナ禍で、議論としては消化不良。そのような中、グループリーダーは良くやって下さった。もう少し議論ができればよかった。

伊藤委員（日野市）

30年後の可燃ごみ処理施設が、地元以外のどこに行くのか、他市の方も一緒に考えていただければと思う。

林委員（小金井市）

各市が、少しずつではあるが施策を進めてきたことは評価したい。大きな意識改革・活動に至っていないのが次期の課題。

斎藤委員（小金井市）

コロナ禍で見学など、情報収集が困難だった。グループリーダーが一生懸命やって下さった。

石田委員（小金井市）

本当にやらなくてはいけなかった実際の環境講座などは、次期にはきちんとした形で実績をあげていただきたい。

八ツ藤委員（国分寺市）

グループリーダーの作業に感謝。次期は、プラスチック資源循環促進法施行もあり、3

市の共通課題としてプラスチックをいかに減らすかが大事。

佐藤委員（国分寺市）

3市らしい減量施策が進んでいけばいいと思う。30年後焼却ゼロに向けて、すぐに取り組めること、長期的に考えていくことを、ある程度絞って進めていくのも必要。心に響く情報発信で、市民の意識が変わることが何より大事。

石垣委員（国分寺市）

コロナ禍で話し合いが十分に出来なかったが、その中でしっかりまとめていただいたグループリーダーに感謝。各委員のアイデアがたくさんあったので、引き継いでいってほしい。

宮脇委員長

委員の感想に共通するところは市民の意識をどう高めていくかが非常に大事だということ。いくらでもお金をかけられるわけではない。市民の考えも様々で、まとめるのは簡単ではない。そのような中、次期の進め方については、具体的な方針を立て、戦略をもって進めていただきたい。

十分に活動が出来なかったという声もあったが、コロナ禍の厳しい状況の中、ここまでやったのが委員の皆様の成果。やれることはやったという自負をもっていただきたい。成果の部分はしっかり引き継がれるべき。

宮脇委員長

提案について、特に追加の大きな意見がなければ、3市市長に報告させていただきたい。代表で日野市長に渡す予定。

(閉会)